



# 風



## 令和5年度 教育活動に関するアンケート（学校評価）結果について

向春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年末にご協力をいただきました「教育活動に関するアンケート」では、貴重なご意見をいただき心より感謝申し上げます。結果がまとまりましたので、下記のとおりお知らせいたします。職員一同、結果を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かすよう努力していく所存です。2月1日の第2回学校評議員会におきまして、今回の学校評価の結果を踏まえ、次年度に向けた本校の課題や改善点についてご報告させていただきました。今後とも保護者の皆様には、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

### 1 学校評価の実施について

- 実施時期 11月
- 対象 蘇我小学校全児童、全保護者、全教職員

### 2 学校教育目標について

学校教育目標 …「学ぶ愉しさを知り、なかよく、ねばり強い子供の育成」

— 土の子 風の子 太陽の子 —

- めざす子ども像…土の子 確かな学力を身に付けた子（知）
- 風の子 心と体を自ら鍛え、たくましい子（体）
- 太陽の子 温かく、思いやりのある子（徳）

**重点** 労をいとわず働くそがっこ

めざす学校像（児童） …わくわく登校、いきいき活動、にこにこ下校

### 3 アンケート結果から

#### （1）肯定的な回答（そう思う・ややそう思う）から

- 「学校は楽しい」の項目では、児童・保護者・教職員ともに89%以上が、また「いじめをせず、仲良く遊んだり協力したりしている」の項目でも、児童・保護者・教職員ともに88%以上が肯定的に回答している。概ね、学校が楽しい場所であり、友達と仲良く遊んだり、協力したりすることができていると考えられる。今後、現在の対応に加え、個々に応じたきめ細やかな対応を行うことで、学校がより楽しいと思える環境を整えていくことが重要である。

#### （2）否定的な回答（あまり思わない・思わない）から

- 「自分の思いや考えをわかりやすく伝えている」では、児童の29%が否定的に回答している。同様に、保護者は44%が否定的な回答をしており、全項目の中で最も高い数値である。コロナ禍の影響で、数年の間制限されてきたコミュニケーション活動を充実させ、児童一人一人が自信を持って考えを発信できるように指導を行っていく必要があると思われる。

#### （3）児童・保護者・教職員の差が大きいもの

- 「自分からあいさつをしている」の項目では、児童が80%、保護者が63%、教職員が40%と、約20%ずつ肯定的な回答が減っている。それぞれの立場で考える「よいあいさつの在り方」に差があると思われる。日々の学級指導やあいさつ運動等を通して、蘇我小学校として「目指すあいさつ」をより明確にし、児童・保護者・教職員が同じ目標に向かって進むことが重要である。

また、「木曜日の家庭学習に取り組んでいる」も同じような傾向が見られるため、家庭学習に対する目指すべき姿を明確にする必要がある。

#### （4）全体的な回答から

- 今年度より対面式の活動が増え、以前の活気ある学校の姿に戻りつつある。その反面、ギガタブの効果的な活用方法やグループで協力する経験の不足等、検討すべき課題も明らかになってきている。コロナ禍前にただ戻るのではなく、新しい教育のベストミックスを模索していくことが重要である。